



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ nara9jyonokai@gmail.com  
☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
6号 2017年4月4日発行



「九条の会」奈良は、2004年12月8日に発足して以来、憲法講座を行ってきましたが、直近は九条の会奈良県ネットワークと共催で開催してきました。今回は、憲法施行70年記念憲法講演会として開催します。安倍自公政権は、森友問題の疑惑を隠蔽しながら、維新など一部野党の支持を取り付けながら共謀罪法案を閣議決定し4月国会に提出、衆参両院の憲法調査会も再開し明文「改憲」をも推し進めようとし憲法に定める平和、民主主義を踏みにじり、「戦争する国」へ暴走しています。介護保険の改悪など暮らしを破壊する法案を数の力で押し通そうとするなど個人の尊重、生存権の保障を定めた憲法を破壊する政治をすすめています。他方、昨年夏の参議院議員選挙で戦争法に反対する多数の市民による「野党は共闘」という声にこたえて民進、共産、自由、社民野党四党が参院選一人区で共闘し、11選挙区で議席を獲得する成果をあげました。「アベ政治は許さない」という運動は、着実に前進しています。

今回講師に来ていただく清水雅彦先生は、日本体育大学で憲法を教え、研究されている研究者です。同時に戦争させない1000人委員会事務局長代行をつとめ、昨年の秋、九条の会の世話人に就任され、戦争法廃止、立憲主義の回復、秘密保護法や共謀罪法案など監視社会に警鐘を鳴らす方です。ぜひ清水先生の講演を多くのかたがたに聞いていただき、これからの九条を守り、生かす運動の糧にいただければありがたいです。地域・分野「九条の会」、各団体、個人のみなさまのご協力を心からお願いします。講演会の詳細はチラシを参照下さい。憲法講座終了後、奈良県文化会館から高天交差点、近鉄奈良駅までパレードを行います。短時間ですので積極的にご参加下さい。地域九条の会の横断幕、プラカード、拡声器などありましたらご持参ください。

## 憲法施行70年・第12回九条の会憲法講座

魚釣りの相談でも捕まる？共謀罪 幼児に教育勅語！？森友学園  
ストップ！戦前回帰。戦争する国へ暴走するアベ政治は許さない

憲法を生かし平和、個人の尊厳をまもる日本を



日本体育大学教授（憲法学）・九条の会世話人

講師

清水雅彦さん

第二部 清水先生を囲んでのトークをおこなう予定です。



清水雅彦（しみずまさひこ）  
日本体育大学教授・憲法学  
1966年兵庫県尼崎市生まれ。明治大学大学院法学部研究科博士後期課程単位取得満期退学。札幌学院大学法学部教授などを経て、現在、日本体育大学体育学部教授。専門は憲法学。主たる研究テーマは平和主義・監視社会論。最近の主な著書に、『憲法を変えて「戦争のボタン」を押しますか？—「自民党憲法改正草案」の問題点—』（単著、高文研、2013年）、『秘密保護法から「戦争する国」へ』（共編著、旬報社、2014年）、『マイナンバー制度 番号管理から住民を守る』（共著、自治体研究社、2015年）、『日米安保と戦争法に代わる選択肢 憲法を実現する平和の構想』（共著、大月書店、2016年）など。他に、民主主義科学者協会法律部会理事、日本民法法律家協会常任理事、日本国際法律家協会理事、戦争させない1000人委員会事務局長代行、九条の会世話人。日体大では応援団部部長を務める。趣味はバイク、鉄道、映画鑑賞、フィルム式カメラなど。

5月4日（木・休日）午後1時受付  
1時30分開会 4時30分閉会  
会場 奈良県文化会館小ホール（300席）  
参加費 500円 学生・高校生200円

共催 「九条の会」奈良 九条の会奈良県ネットワーク 協賛 奈良市民連合

連絡先 北野重一 090-8215-2440 岩下美佐子 080-6170-5490 岡崎邦夫 090-7367-1024 木村宥子 090-1442-1827 崎本治三郎 090-7551-0403 古川清明 090-1220-7112

奈良広陵九条の会では、恒例の19の日行動をおこないました。日曜日でもあり、先月に続いて商業施設エコーラマミの2階通路で午後4時から約40分間、宣伝と署名活動を行いました。11人が参加し、テロ対策を口実に安倍内閣が制定しようとしている「共謀罪」創設に反対を呼びかけるチラシを110枚配布しました。また、「共謀罪」の創設に反対する署名も訴えましたが、署名は2筆にとどまりました。チラシの受け取りは悪くなかったのですが、署名に応じてくれる人が少なかったのは、「共謀罪」の危険な内容や狙いがまだまだ知られておらず、テロ防止のためには必要と受け取っている人も多いのではと感じました。次回は、4月19日午後5時から近鉄五位堂駅前まで計画しています。



生駒九条の会  
アクション

## 共謀罪法案を国会提出、何としても廃案に！ 自衛隊の国民監視差し止め訴訟は勝利

野党と国民の反対を押し切って、共謀罪法案が上程されました。テロ防止は口実で、実際は沖縄基地や原発再稼働など政府に反対する市民運動を監視し、弾圧するためです。実際、自衛隊イラク派遣に反対する市民運動を自衛隊が監視していたことが、自衛隊情報保全隊の内部文書で発覚（2007年6月）し、監視された東北6県の住民が監視の差し止めを求めた訴訟で、一審の2012年3月仙台地裁は原告5人に対する監視の違法性を認め、さらに控訴審では元情報保全隊長や情報保全室長の証人尋問を実現させたうえ、2016年2月2日に原告1人について国の賠償を命じる判決を下しました。2月16日に国が上告を断念し、判決が確定しました。この例は、共謀罪法案の危険性をズバリ浮き彫りにしています。（憲法九条の会生駒ニュースより）

### 平城ニュータウン9条の会アクション

3月9日10名の参加で、大阪弁護士会の「共謀罪」反対のチラシを配りながら、国会提出反対の署名と核兵器廃絶の国際署名を集めました。寒い日でビラの受け取りも悪く署名もほとんど集まらずどうなることかやきもき。後半年配の方が自ら署名、若い人がよく話を聞いて署名してくれました。「共謀罪」署名15筆、核廃絶署名8筆集まりました。3月23日現在「共謀罪」の署名は301筆となりました。

奈良広陵九条の会

10周年のつどい

市民団体からの連帯あいさつ

講演：石川康弘

神戸女学院大学  
総合文化学科教授

「安倍首相がめざす日本・時代錯誤の戦前帰帰」

安倍内閣は、特定秘密保護法、戦争法（安保関連法）を制定し、今また、現代版「治安維持法」とも言われる共謀罪（テロ等準備罪）法案の成立と明文改憲に強い執念を示しています。安倍首相がめざす日本で基本的人権の尊重・平和・くらしなどがどう変わるか、を考えます。



◇石川康宏さんプロフィール◇

1967年、北海道札幌市生まれ。1975年、立命館大学産業社会学部に入学生が体を壊し中退。その後、経済学部の2部に編入学。立命館大学2部経済学部、京都大学大学院経済学研究科（博士課程）卒業。1995年、神戸女学院大学に赴任。2004年より文学部総合文化学科教授。主な著書に『戦後70年の日本資本主義』（共著）、「軍事立国への野望」（共著）、「社会の仕組みのかじり方」、「21歳がみたフクシマとヒロシマ」（ゼミ報告）、「おこぼれ経済」という神話、「改革の時代と「資本論」」などがある。  
憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事。全国革新懇代表世話人。

日時：6月4日（日） 午後2時～4時30分  
（開場午後1時30分）

会場：広陵町 グリーンパレス  
5階大ホール

広陵町大字笠 168番地 TEL 55-5755

参加協力費：500円

主催：奈良広陵九条の会

連絡先TEL 0745-55-6250 井上 54-5138 下村

後援：奈良新聞社・毎日新聞奈良支局・朝日新聞奈良総局

命の奪い合いの戦争から解放する平和憲法9条②項のリアル化を目指す

ピジョン

倶楽部 第29回例会

今回は、「新聞うずみ火」なら文化交流会との合同開催によるシンポジウム。第1部の基調報告は、矢野宏記者の「森友学園と安倍政権の闇の世界」。第2部のパネルディスカッションでは、若者を含めた4名のパネラーにより、この問題に徹底する、政治・経済・教育・官僚制度の民主的在り方や政教分離についての意見や批判を、参加の皆さま方との討論を通じ、その本質に迫ります。基調報告は50分。パネルディスカッションは休憩の20分を挟み、2時間の予定。問題の深層を見つめ、デモクラシーとポピュリズムとの差違、危機感の共有と、おのおのの生活の中で炎をともす集まりになるような展開が期待されます。

●テーマ 新聞うずみ火・なら文化交流会、ピジョン倶楽部共催「森友学園問題」

◆とき 2017年4月15日（土） 13:30時～16:30時

◆ところ 西部公民館 6F 中会議室

★奈良市学園南三丁目1-5 (0742-44-0101) 近鉄学園前駅  
南口徒歩1分（スターバックスが1階にあるビル）

■参加費：500円（資料代茶菓予代）



矢野 宏（やのひろし）

1959年12月生まれ。「新聞うずみ火」代表・フリージャーナリスト。元黒田ジャーナル記者。ラジオ大阪「ニュースワンダーランド」、「中井雅之のハッピーで行こう！」などで、コメンテーターとして日々ニュースをわかりやすく解説してきた。2002年から2014年まで、関西大学非常勤講師として「マスコミ文章実習」の講義を担当。主な著書として、『大阪大空襲訴訟を知っていますか』（せせらぎ出版）、『関西電力と原発』（高橋安と共著、西日本出版）のほか、神戸連続児童殺傷事件の遺族、山下京子さんにインタビューした『絶望のなかに希望を拓くとき』（女子パウロ会）など多数。<http://uzumibi.net/>

●森友学園問題の一つは、この国の憲法に基づく民主的意思決定のあり方の問題ではないでしょうか？それは、天皇制、原発、安保法制、共謀罪、特定秘密保護法等にも通底するといえましょう。意見を交流し様々な観点から問題を考えます。

